

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 7年 5月

事業所名 ジムズキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習室と指導訓練室の適切なスペースを確保できています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		下校時刻が重なり、送迎が難しい時には、他事業所に応援を要請しています。	今後も職員の配置数が適正であるよう厳守します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関に7センチほどの段差があります。現在困ることはありませんが、状況によっては厚いマットを敷くなどして段差をなくします。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員間の連携を行っています。毎月職員会議を複数回行っています。	今後も、全職員が周知出来るように努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果を集計後、保護者様の意見に耳を傾け、改善に努めています。	今後もアンケート結果を元に改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		公表しています。	今後も継続していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討いたします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月に1回行っています。年単位で、研修を計画し、実施しています。	今後も、社内会議、事業所内会議を継続して行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に一度、面談を行っています。	今後も子供と保護者様のニーズや課題を分析し、良い支援を行えるようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		モニタリングを行っています。	モニタリングの結果に基づき、職員間で共有しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		療育内容が偏らないよう、月ごとでメニューを変えています。	今後も、様々な事を盛り込んでいきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		行っています。	初めての事や苦手な事に前向きにチャレンジし、達成感と自己肯定感が高まるような支援をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの特性を理解したうえで計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		申し送りや、当日の活動内容などの確認をし、情報共有をしています。	今後も、職員間での情報共有、支援の内容、役割などの打ち合わせをしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日の気になった出来事を共有し、反省点、改良点など職員間で話し合っています。	今後も職員間で打ち合わせをし、情報共有や振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人ノートを作成しており、気になることがあれば記録をし、検証、改善につなげています。	今後も継続していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度、モニタリングを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		実施しています。	ガイドラインに沿って行っています。

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		現場支援員が参画しております。	今後も支援員が会議等での情報を元に行います。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		実施しています。	今後も、共有出来るように努めていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	実施していません。	現在、医療ケア児の利用がありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	実施していません。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		行いました。	相談支援員を介して情報を共有しました。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		公園、科学館、児童館、ドリームシアターなどの施設で触れ合う機会を設けています。	今後も、継続していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や、連絡帳、電話で連絡しています。	今後もジムズでの様子をお伝えし、発達の状況や課題について共通理解を持てるように努めていきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	実施していません。	今後検討します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。	今後も同意して頂ける様に説明をしていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		実施しています。	直接や電話、連絡帳など、相談しやすい環境を今後も提供していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		実施しています。	ご意見等を頂いた際は職員全員が周知し、利用児や保護者様に対応いたします。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動の概要を配布しています。	毎月活動内容を配布しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		十分に注意をしています。	今後も、十分に気を付けていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		特性に合った伝え方をしています。	今後も継続していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	実施していません。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	作成してあります。	職員には周知しています。今後、保護者様に周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実施しています。	1年に2回行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		適切な対応をしています。年に1回以上研修をしています。	虐待防止等の資料を設置し、職員全体で周知しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に行っています。	今後も十分な説明をしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		実施しています。	アレルギー等の持病の確認を職員が共有、徹底しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		実施しています。	今後も、全職員が周知するようにしていきます。